

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金												令和02年12月24日
計画の名称	快適な生活環境と安全・安心な水環境を守る公共下水道の整備											
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度（5年間）									重点配分対象の該当		
交付対象	藤枝市											
計画の目標	公共下水道の整備を推進し、居住環境や生活環境の向上及び公共用水域の保全を図るとともに、水害に強い都市を作ることにより、安全安心な市民生活の確保を図る。 下水資源等のエネルギー利用を促進し、市内における循環型社会の構築に貢献する。											
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		673	A	673	B	0	C	0	D	0 効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D） 0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	下水道処理人口普及率を43.5%から44.6%に増加させる。 行政区域内人口に対する下水処理区域内人口（下水道による污水处理が可能になった区域内の人口）の割合・・・普及率 下水道処理人口普及率（%）＝下水道処理区域内人口（人）／行政区域内人口（人）	43%	44%	45%
2	家庭系生ごみ資源化に向けて、調査及び全体計画と事業計画の変更を100%完了する。 家庭系生ごみ資源化事業に係る計画変更が完了した割合 家庭系生ごみ資源化事業に係る計画変更の完了率（%）＝計画変更1式（完了）／計画変更1式（計画）	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	管渠（ 污水）	新設	藤枝処理区管渠整備（未 普及整備）	污水管渠φ200 L=3,500m	藤枝市	■	■	■	■	■	550		-
	A07-002	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	管渠（ 污水）	新設	藤枝処理区管渠整備（実 施設計）	実施設計業務 L=1.5km	藤枝市		■				20		-
	A07-003	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	管渠（ 污水）	新設	公共下水道事業計画の変 更	計画策定	藤枝市	■					23		-
	A07-004	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	終末処 理場	新設	家庭系生ごみ資源化事業 実施のための計画見直し	汚泥処理構想策定、全体計画 及び事業計画変更、導入可能 性調査（FS）	藤枝市	■	■	■			80		-
											小計						673		
										合計						673			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	R06
配分額 (a)	62	77	55	0	0
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	62	77	55	0	0
前年度からの繰越額 (d)	0	5	21	0	0
支払済額 (e)	62	61	76	0	0
翌年度繰越額 (f)	0	21	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 快適な生活環境と安全・安心な水環境を守る公共下水道の整備

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業推進等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

社会資本整備総合交付金

